

## 令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

### 平均正答率

#### 1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
八基小	上回った	下回った	上回った	上回った	下回った	上回った
埼玉県	51.9	56.9	56.7	62.6	53.4	50.9

#### 2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
八基小	5-A	6-C	7-C	5-C	5-C	6-A
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-B

#### 3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
八基小		1	-1.0		1	1
埼玉県		1	0		1	0

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		八基小	埼玉県	八基小	埼玉県	八基小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	90	91.2	93.8	82.5	100	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	85	79.3	93.8	77.6	84.2	72.3
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	75	75.9	93.8	77.6	89.4	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	85	78.5	93.8	82.4	100	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	90	82.7	93.8	86.7	89.5	85.1
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	60	47.8	43.8	46.2	57.9	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	60	55.6	68.8	58.8	79.9	60
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	20	31.4	31.3	24.9	15.8	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	75	75.2	87.5	77.4	89.5	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	95	73.5	87.6	71	73.6	61.1
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	70	73.3	87.5	69.3	79	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	90	82.1	93.8	80	89.4	82
	・国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた(2項目の平均として)	2.5	16.9	15.7	16.7	0	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	50	23.1	18.8	25.8	10.6	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	90	84.8	87.6	88.7	94.7	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	95	92	93.8	92.9	89.4	93.7
	・学級での生活は楽しい	90	94.8	100	92.5	79	91.6

### 【質問紙分析】

- ・ 全学年において「地域の歴史や自然に関心をもっている」割合が県平均と比べて高いのは、学校教育目標をもとに、ふるさと教育に積極的に取り組んだからと考えられる。
- ・ 深谷の子「6つの誓い」に関する質問項目がほとんど高いのは、渋沢栄一翁の生誕の地がある学校として、立志と忠恕の精神に基づく行動目標深谷の子「6つの誓い」が浸透しているからだと考えられる。

### 伸びが見られた学級・教科での取組

#### 【国語】

伸びが見られた学級では、

- ・ 行事の前後に新聞や日記、ふり返しシートを作成し、相手に伝わる文章を書く取組を行っていた。また、新聞ワーク、視写、聴写、要約など、書く活動を工夫して取り入れていた。
  - ・ 非認知能力の高い学年では、認め励ます声かけが多く行われていた。
- など、自分の考えをまとめる機会を多く設定し、作文の要領を得たり自信がついたりした結果、上回ったと考えられる。

#### 【算数】

- ・ 年間において、45分間の授業の中で、自力解決の時間を確保し、適応問題を必ず解かせていた。
- ・ 様々なタイプの問題（プリント）を用意しておき、課題が終わるごとに、自分に合ったプリントに挑戦できるようにしておいたことで、知的好奇心をくすぐる仕掛けで、苦手意識を払拭させた。
- ・ 板書、ノート指導など、事前に計画し、わかりやすい授業を心がけ、教材研究を行った。などの手立てを工夫し、基本的な内容の定着を図った結果、上回ったと考えられる。

### 一人一人をより伸ばすための取組

- 伸びが見られた学級の取組を取り入れていく。(学力向上だよりによる周知)
- 学力向上PJ教員が中心となって、指導の助言や教材教具の作成・準備、示範授業などを行う。
- 児童一人ひとりに、より手厚い指導がいきわたるよう、時間割を調整し職員によるサポート体制を整える。
- 学習の成果を個人面談や懇談会、お便りなどで、クラスや児童の課題を伝えたり、相談したりする機会を積極的に設け、学校、家庭、地域が一体となって取り組めるようにする。
- 正答率が低く、課題が見られた問題（学習内容）について、確実におさえていく。

#### 【国語】

- ・ 同じ読みの漢字
- ・ 修飾と被修飾との関係
- ・ 接続語の働き
- ・ 登場人物の言動の読み取り
- ・ 熟語の構成や正しい読み方
- ・ 内容のまとまりで段落をつくる
- ・ 語句の対義語

#### 【算数】

- ・ 割り算の文章題
- ・ 円の性質
- ・ 表の読み取り
- ・ 少数のかけ算
- ・ 四捨五入して概数で表す
- ・ 三角定規の性質を生かして角度の大きさを求める
- ・ 比例の関係
- ・ ひし形の性質の理解
- ・ 折れ線グラフの読み取り